



かめおか乳幼児教育センター開所記念  
映画「こどもかいぎ」を観ました。



5月21・22・23日の映画鑑賞、3日間で100名の参加がありました。保育の中のありのままの様子と、子どもたちの豊かな表現に会場は温かさや笑い声で包まれたり、「わかる、そんなことあるある」「うんうん」と頷かれたりと共感の表情もありました。

〈あらすじ〉

この園は子どもの主体性を大切にされています。特に対話を大切にしようと「こどもかいぎ」を始めてみました。その中で、子どもたちの心や考え、気持ちにふれながら、子どもたちの世界にどう寄り添うかを考えて保育を進められていました。園長先生は「子どもを見守るっていうことは、子どもが何をしようとしているのか？何をしたいか？をとことん理解することです」と仰っています。

〈当日の様子〉

映画を見た後、小さい輪になって、おしゃべりをしました。

「子どもって本当にかわいいね」「こどもたちの考えを聞いてみたいね」「対話できていないな」とワイワイおしゃべりが盛り上がりました。



〈参加の皆様からの感想〉

子どもたちは、大人が思っている以上に自分の気持ちを伝えたいし心を通わせたいと思っているのだと感じた。この映画は多くの方にみてほしい。

「対話」の面白さが伝わってくる映画でした。対話をする習慣がないことを振り返った。

先生自身の「知りたい」から始まると思った。普段の会話で対話を意識したい。子どもとの対話を保育者同士や保護者と分かち合いたい。保育者の葛藤の姿が共感できた。



保育園って子どもの夢を叶えるところなんですね。子どもたち可愛い♡

これまで保育士が話す 仲介する 結論や解決を目的としていたことがあった。子どもの話を聞くことが何より大事なんだと気づいた。



子どもたちの考えは無限大∞

話す体験・考えていることを聞いてもらう体験は大事だと思うが、慌ただしい毎日でなかなか関わっていないなと振り返りました。

かけた言葉ひとつが子どもの未来を左右するかもという言葉が印象的でした。

何事も解決することを目的にしないで、じっくり話を聞き、子どもの思いに寄り添いたいと思った。

子どもは考えをもっているという視点をいつももっていたい。

8月1日「おとなかいぎ」是非ご参加ください。WaiWaiしゃべりましょう。